

**第3次府中市生涯学習推進計画
体系案
(検討用資料)**

府中市の現状と課題

市の生涯学習政策の基本的な方向性

府中市では、平成17年度以来、学んだだけで終わるのではなく、その成果を社会や地域に返していく「学び返し」の考え方を、生涯学習の理念として、全国に先駆けて確立。前期計画および第6次府中市総合計画では、この蓄積を受け、「学び返しを通して地域教育力の向上を目指す」ことを目標に生涯学習事業を実施。

市の生涯学習の現状と課題（市民アンケート、ヒアリング調査より）

府中市の生涯学習活動は活発である

- ・市内各公共施設での講座は多くの参加者を集めており、抽選となっている例も少なくない。
 - 働いている人、新規参加者などが生涯学習活動に参加しにくい**
 - ・日中市内にいない若年層、働き盛り層の参加が少ない。
生涯学習センター、ルミエール府中、市民活動センター「プラッツ」など、施設の夜間開館自体は他市に比べ進んでいる。
 - ・これまで生涯学習活動に参加していない層で、参加のきっかけがつかみにくいという声がある。
 - ・**健康面に不安がある高齢者などからは、近くの施設でないと通いづらい、気軽に参加できる講座を行ってほしいという声がある。**
 - ・育児中の人から、乳幼児連れでは参加しにくいという声がある。
- 広報・情報発信に不満がある。**
- ・情報が取れていない、広報や情報発信が不足しているという声がある。



1. 市民全体が生涯学習活動に参加しやすい環境づくりを進めることが必要

「学び返し」の理念が定着していない。

- ・「学び返し」についての市民の認知が低い。
- ・施設の事業でも、「学び返し」を特別に意識して企画されているものはそれほど多くない。
- ・市として、「学び返し」についての広報が十分でない。
- ・登録サポーターやファシリテーターの育成は進んでいるが、活躍の場が十分に確保されていない。
- ・市の事業が各主管課により個別に行われており、「学び返し」の理念のもとに統一されていない。
- ・生涯学習活動は活発だが、市民活動、NPO活動、コミュニティビジネスなど「返す」活動団体の活動がやや低調に見える。



2. 市全体に「学び返し」の考えが定着する施策を進めることが必要

府中市の現状と課題

生涯学習系施設同士が個々の連携となっている。

- ・各施設とも、他施設、団体、企業、学校等との連携を行っているが、個々の施設ごとの連携に留まっており、市内の生涯学習系施設同士の組織的な連携になっていない。
- ・個々の施設で他施設とのすみ分けを意識して事業企画をしてはいるが、施設同士の連携が弱い。

広報は「広報ふちゅう」のほか、施設それぞれの情報発信がメインとなっている。

- ・施設のホームページ、施設独自のチラシでの広報が中心で、市内の生涯学習情報をまとめた広報媒体の作成や窓口の設置をしてはどうかという意見があった。

恵まれた施設環境がある一方で、老朽化している施設も多い。

- ・府中市は生涯学習系施設の数も規模も周辺市と比較して非常に恵まれた状況にあるが、より細やかな点検や改修などの対応が必要になっている。

施設の利用しやすさを高めてほしいという声が出ています

- ・高齢者など健康面に不安がある人から、より使いやすいようにしてほしいという声がある。
- ・育児中の人から、乳幼児連れでは参加しにくいという声がある。



3. 生涯学習を推進するための基盤となる体制の整備や情報発信の工夫が必要

生涯学習の施策体系（案）

< 基本理念 >

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

（第6次府中市総合計画「文化・学習」分野の基本目標）

< 基本目標（仮） >

みんなで学び みんなに返す ひとと地域がともに育つ 『学び返し』のまち 府中

「学び返し」の理念を基本に据え、府中市の生涯学習の蓄積を踏まえる（『学び返し』のまち 府中）。

住民から新たな住民や高齢者、若い人、働いている人、子育て中の人など広い層の市民全体（みんな）が学べる環境をつくる（みんなで学び）

「学び返し」の考えを普及させるとともに、そのための人材育成、さらには返すための活躍の場を拡大する（みんなに返す）

人生100年時代を踏まえた個人としての成長と、歴史文化や緑等を始めとした府中ならではの地域の振興を、学び返しの地域教育力で、実現する（ひとと地域がともに育つ）。

基本施策1 誰もが学べる環境づくり

対象者ごとの学習環境づくり

- ・就労者、高齢者、子育て世帯などそれぞれの対象者に合わせた参加しやすい環境づくりや、興味を持つ内容/テーマの提供を行う
- ・上記のため、市民団体や民間団体との連携や協働も広げる

気軽に参加できる学習環境づくり

- ・生涯学習に参加できていない層や新たに住民になった層を巻き込んでいくため、幅広い市民が興味をもつテーマの活動およびその広報の充実や、時間がある時に気軽に参加できる講座などを行う。

基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり

「学び返し」を実践する人材の育成や登用

- ・サポーター、ファシリテーター制度を、他施策領域とも連携し、充実をはかる
- ・「（学びを）返す」を意識した講座や活動の拡大・充実をはかる（教え方の実践や共有、市民協働分野との連携拡大など）

市民が活躍する場の拡大

- ・市民が「返す」活動を気軽に始められる場を拡大するため、生涯学習施設での市民の活躍の場の拡大、市民協働分野との施策の連携、地域活動との連携などの場を拡大していく。

基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備

施設と事業との連携

- ・生涯学習全般の広報体制の充実
- ・市全体での講座展開の連携

生涯学習の推進機能の充実

- ・PDCAサイクルに基づく各生涯学習関連事業の調整
- ・庁内連携の推進
- ・ファシリテーターなどの活用による市民団体、民間団体の横のつながりの拡充

安心・安全に利用できる施設の環境づくり

- ・高齢者や乳幼児連れなどの方々が利用しやすい環境づくり
- ・第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを踏まえた老朽化対策などの実施

施策の基本目標をわかりやすく具体化する重点施策を設定することで、第3次府中市生涯学習推進計画全体の進捗を牽引

方向性1 モデル事業の実施

第3次府中市生涯学習推進計画の方向性を牽引する生涯学習講座・活動をモデル事業として実施する。

1、対象者向けモデル事業の実施

就労者、子育て世帯、高齢者などの対象者の興味や参加のしやすさを踏まえた新たな生涯学習講座などの実施

2、「学び返し」育成モデル事業の実施

他分野と連携しながら、学んだ後の「返し方（教え方）」を教える、「活躍の場」もセットで準備するなど、学ぶ+返すを実践できる事業の実施

方向性2 「学び返し」広報・PR体制の確立

新規参加者を広く巻き込むための広報・PR体制の確立と目玉イベントの確立。

1、紙とデジタル双方での広報の強化

生涯学習活動に参加できていない市民に対しても、生涯学習の面白さや「学び返し」の重要性をアピールできる新たな広報体制の拡充

2、「学び返し」を市民に定着させる目玉事業の充実

「学び返し」の理念を、市民全体に広げ、共感してもらい、定着させていくため、多くの市民（今まで生涯学習事業に参加していない層を含む）が「学び返し」に体感できる機会を提供。既存のイベントなどの名称/内容変更を含む。